MITSUBISHI

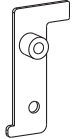
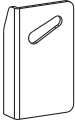
サイネージ取扱説明書

三菱液晶カラーテレビ

カンタンサイネージ

形名

ディーエスエム エル DSM-19L3	ディーエスエム エル DSM-22L3
ディーエスエム エル DSM-26L3	ディーエスエム エル DSM-32L3

サイネージ機能についての取扱説明書です。

- ご使用の前に、この取扱説明書および付属の取扱説明書(同梱CD)をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 保証書は「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- 「取扱説明書」と「保証書」は大切に保存してください。

もくじ

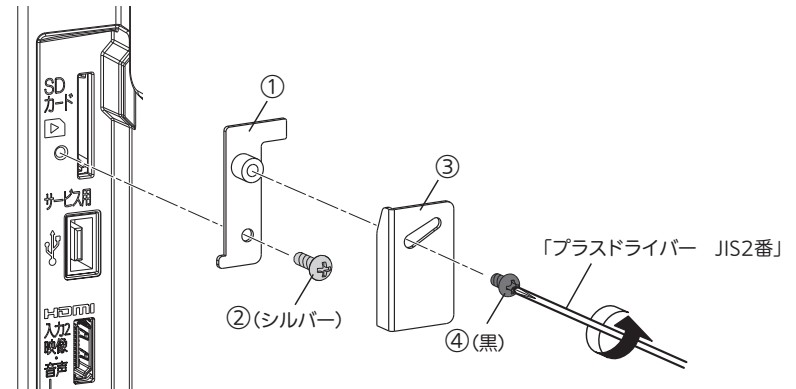
本書の端面で手などを傷つけないよう、ご注意ください。

同梱物を確認する

- **黒シール（大・小）について**
  設置時に、必要に応じてご使用ください。

Memo

SDカード盗難防止金具の取付け手順

※取付ける前に使用するSDカードを挿入してください。

お願い！

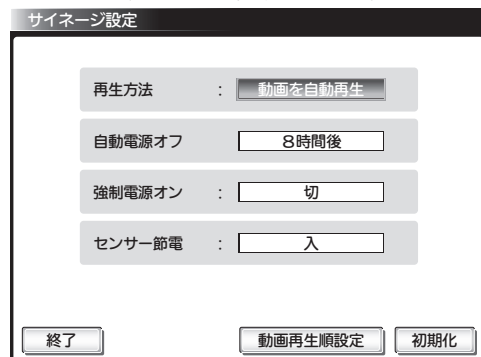
ネジを締める際、斜めに締めたりしないようにご注意ください。
ネジ山がつぶれて取付けできなくなります。

Memo

サイネージ設定方法（SDカードに記録された静止画や　動画を自動リピート再生するための設定です。）

1 テレビの電源を入れる

2 サイネージボタンを押す

サイネージ設定画面が表示されます。

3 設定したい項目を ▲▼ で選び、決定 を押す

4 ▲▼ で設定したいモードや数値を選び、決定 を押す

- 動画の再生順を変更したいときは 動画再生順設定 を選び、決定 を押してください。P.6
- 静止画と一緒に音声を再生したいときは 静止画再生設定 を選び、決定 を押してください。P.8 または P.10

5 テレビの電源を切り、もう一度電源を入れる

設定したサイネージ機能が開始されます。

- 主電源を切にしても設定は保持されます。
- 設定を変更/確認するときは 2 ～ 5 の操作をしてください。

お知らせ

- SDカード再生の基本的な操作や性能については、付属の取扱説明書（同梱CD） P.54～57 をご覧ください。
- 付属の取扱説明書（同梱CD） P.92 の一発録画はできません。

設定項目

●「再生方法」

自動リピート再生するコンテンツを選択します。

静止画を自動再生 ---- 静止画をリピート再生する
動画を自動再生 ------ 動画をリピート再生する
ネットワーク -------- 本機ではご使用になれません
切 ---------------- 自動リピート再生を切りにする

お知らせ

静止画と動画はどちらか一方しか選択できません。
（例：静止画を選択した場合は、動画のデータを認識せず「SDカードに対応するデータがありません」のメッセージが表示されます。動画を自動再生に設定しなおしてください。）

●「自動電源オフ」

サイネージ開始時から再生を終了し、電源をオフにする時間を設定します。

連続 -------------- 自動オフを設定しない
1～23時間 --------- オンにしてから何時間でオフにするかを1時間単位で設定する

●「強制電源オン」

主電源を入れたときに常に電源「入」になるか否かを設定します。

入 ---------------- 必ず電源オンで起動する
切 ---------------- 強制電源オンを設定しない

●「センサー節電」

周囲が暗くなったことを検知し、電源をオフにするか設定します。

入 ---------------- 周囲が暗くなったときに、電源をオフにする
切 ---------------- 周囲が暗くなっても、再生を続ける

●「スライド時間」

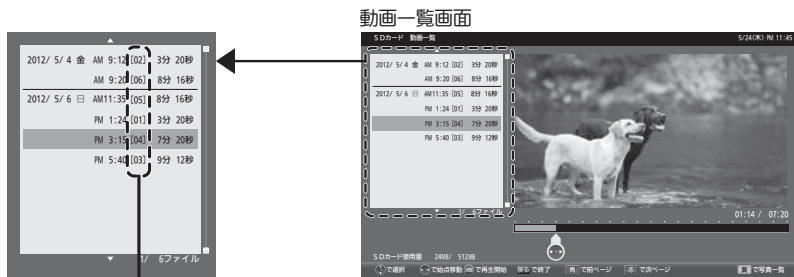
静止画再生時の画像更新間隔を設定します。

5、10、15、30、60秒 -- 静止画が切り換わる時間を設定する

・サイネージ設定を初期化する場合は、 初期化 を選ぶ

サイネージ設定画面で設定した全ての設定が初期化され、再生方法が切に戻ります。
動画再生順設定、静止画再生設定で設定した内容は保持されます。

動画再生順の設定方法

再生方法で**「動画を自動再生」**に設定したときのみ設定できます。

この部分に再生する順番が表示されます。

1 ▲▼で再生順を設定する動画を選ぶ

2 チャンネル ∧∨ で再生したい順番に数字を選ぶ

[−−](設定なし)から ∧ を押すと[1][2]…[99]、∨ を押すと[99][98]…[1]と切り換わります。

・設定なしの動画は、設定された順で再生した後に一覧画面に表示されている上から順に再生していきます。

お知らせ

設定した再生順は本機に記憶され、SDカードを変えても保持されます。

サイネージに対応したSDカード/データフォーマット

● 使用可能なSDカードならびにフォーマット

項 目	条 件	備 考
カード種類	SDカード(〜2GB)、SDHCカード(〜32GB) ※マイクロSDおよびミニSDは、アダプタ装着により利用可能。	SDXCカードは非対応。
スピードクラス(AVCHD再生)	クラス2以上(動画ビットレート13.6Mbpsまで) クラス4以上(規格最大24Mbpsまで可) SDカードのファイルシステム	「FAT32」形式に対応。
スピードクラス(静止画再生)	クラス2以上	
動作確認メーカー※	パナソニック、東芝、SanDisk、トランセンド	各スピードクラス(クラス2以上)の代表的なSDHCカードで確認。

※ SDカードによっては再生できない場合があります。

● 再生できる動画データ

「AVCHD」または「AVCHD Lite」フォーマット準拠のディレクトリ構成および動画ファイル。ただし、SDカード記録用フォーマットのみ対応。

・再生可能な映像/音声フォーマット

項 目	フォーマット	ピクセル	備 考
映 像	1080i(60 フレーム)	1920×1080 1440×1080 (16 : 9)	1080p(60 フレーム)は非対応。
	1080p(24 フレーム)	1920×1080 1440×1080 (16 : 9)	
	720p(60 フレーム)	1280×720 (16 : 9)	
	480i(60 フレーム)	720×480 (16 : 9 / 4 : 3)	
音 声	AC-3(DolbyDigital)	—	サンプリング周波数 48kHz(推奨) ビットレート 32k〜640kbps(動作確認済)

※ 非サポートフォーマットの映像/音声を含む動画は再生リストに表示されません。

● 再生できる静止画データ

・データ名の右端に「jpg(JPG)」、「jpeg(JPEG)」が付いた、Exif 2.1準拠のJPEG圧縮データだけが再生できます。
・カラーモードがRGBモードのみ再生できます。
白黒画像などにおいては、再生できない場合があります。
・記録状態によっては、正常に再生できないことがあります。
・プログレッシブ形式のJPEGファイルは再生できません。
・ファイルサイズが8MB以上のファイルは再生できません。
・Motion JPEGには対応していません。

静止画データに関するお知らせ

・再生するファイルの格納は、**SDカードの直下に保存**してください。
SDカード内に作られたフォルダ内に格納されたファイルは再生できません。
・静止画再生の再生順序の設定について
一覧にはファイル名の数字、アルファベットの若い順に表示され、一覧の上から順に再生されます。
→ファイル名の先頭を00〜99の数値にすると、再生順序を簡単に設定することができます。
・一覧のファイル名は、半角で8文字まで表示されます。
・画素数の小さなファイルを再生した場合は、拡大して表示されます。

静止画再生中の音声再生方法

再生できる音声ファイル形式は、『**mp3**』のみです。

- サイズの小さい音声ファイル(目安:4KB以下)は再生できない場合があります。
- 音声変換ソフトによっては正常に再生できない場合があります。

表示の画面に関係なく、1つの音声ファイルをリピート再生するとき

「音声再生モード」を「1曲リピート再生」に設定し、再生したい音声ファイルを指定します。

準 備　再生したい音声ファイルを**SDカード直下に保存**する。

1 SDカードを挿入する。または SD再生 を押す

写真一覧が表示されます。

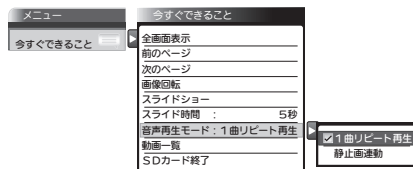
- 動画ファイルも保存されている場合、選択画面が表示されるので、[**写真を見る**]を選び、決定を押す

- P.5の「再生方法」を「静止画を自動再生」に設定しているとスライドショーが始まるので メニュー を押して「今すぐできること」→「写真一覧」で写真一覧を表示する

2 メニュー を押す

「今すぐできること」→「音声再生モード」→「1曲リピート再生」を選び、決定を押す

3 メニュー を押して「写真一覧」に戻る

次ページへつづく

4 写真一覧が表示されている状態で、黄 を押す

SDカードに音声ファイルが1つしかない場合や、音声ファイルリストの一番上に表示される音声ファイルを再生する場合はこの操作は不要です。
ファイルがリストされる順番は、P.10の「**準備**」をご覧ください。

音声選択ダイアログが表示されます。

5 ▲▼で再生したい音声ファイルを選び、決定を押す

- カーソルを当てると音声ファイルが再生されるので、内容を確かめながらファイルを選べます。

6 戻る を押して「写真一覧」に戻る

7 写真を「全画面表示」または「スライドショー」で表示する

手順 4 で指定した音声ファイルが再生されます。

Memo

サイネージ設定方法(つづき)

表示する静止画ごとに音声ファイルを指定して再生するとき

「音声再生モード」を「静止画連動」に設定し、写真ごとに再生する音声ファイルを指定します。
静止画の表示時間は、「スライド時間」で指定された時間ではなく、音声ファイルの再生が終わるまでの時間になります。

準 備　再生したい音声ファイルを**SDカード直下に保存**する。
ファイルの並び順で再生するので、再生したい順にリストされるようにファイル名を変更すると便利です。
数字、英字、記号の昇順にリストされます。
リスト順の例：001B.mp3
002A.mp3
A001.mp3
_001.mp3

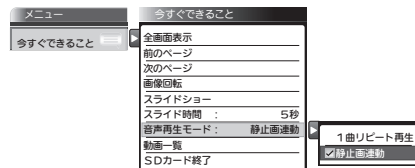
1 SDカードを挿入する。または SD再生 を押す

写真一覧が表示されます。

・動画ファイルも保存されている場合、選択画面が表示されるので、[写真を見る]を選び、決定を押す

・P.5の「再生方法」を「静止画を自動再生」に設定しているとスライドショーが始まるので メニュー を押して「今すぐできること」→「写真一覧」で写真一覧を表示する

2 メニュー を押す

「今すぐできること」→「音声再生モード」→「静止画連動」を選び、決定を押す

3 メニュー を押して「写真一覧」に戻る

4 写真一覧で音声ファイルを指定したい静止画を選び、黄 を押す

音声ファイルが、再生したい順にSDカードに保存されている場合はこの操作は不要です。

音声選択ダイアログが表示されます。

5 選択している静止画が表示されているときに、再生したい音声ファイルを▲▼で選び、決定を押す

・カーソルを当てると音声ファイルが再生されるので、内容を確かめながらファイルを選べます。

6 戻る を押して「写真一覧」に戻る

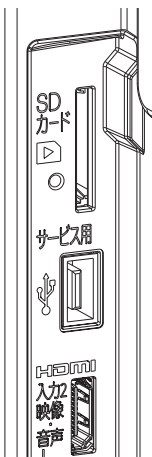
7 4～6の手順で他の静止画にも音声ファイルを指定する

8 写真を「全画面表示」または「スライドショー」で表示する

再生される静止画に合わせて、手順4で指定した音声ファイルが再生されます。

次ページへつづく

SDカードへデータを転送する

本体左側面

サービス用のUSB端子を使って、USBメモリなどの記録媒体(メディア)から、本機に挿入済みのSDカードへデータを転送することができます。

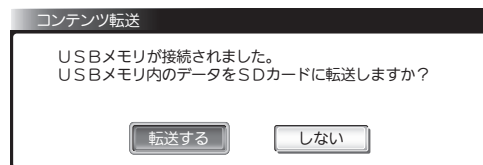
※データの転送を開始するとSDカード内のデータはすべて消去されますのでご注意ください。

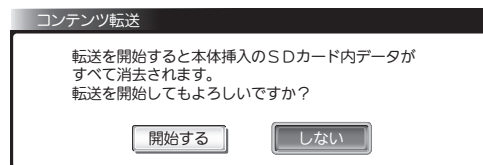
※サイネージ設定画面の再生方法 P.5 を「**静止画を自動再生**」または「**動画を自動再生**」に設定したときに有効な機能です。

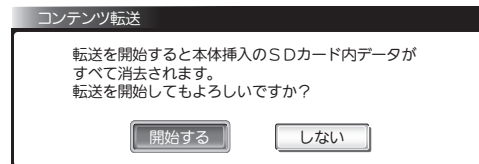
※ファイルシステムは「FAT」「FAT32」のみ対応しています。

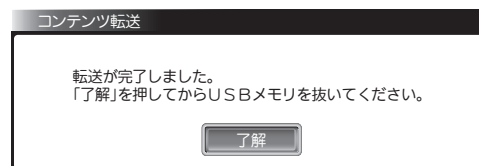
準　備　転送するデータは、メディア直下のフォルダ「MITSUBISHI_REAL」にまとめて保存しておきます。
※フォルダ名は必ず「MITSUBISHI_REAL」としてください。他の名称では転送できません。

1 サービス用のUSB端子にUSBメモリを差す

接続確認画面が表示されます。

2 「転送する」が選ばれているので、決定を押す

転送開始確認画面が表示されます。

次ページへつづく

3 ◀ ▶で「開始する」を選び、決定を押す

- SDカード内のデータをすべて消去し、SDカード直下にフォルダ「MITSUBISHI_REAL」内のデータをすべて転送します。
- 動画などデータ容量が大きい場合は、転送に数分掛かることがあります。
- 転送中はUSBメモリを抜いたり、本機の電源を切ったりしなでください。

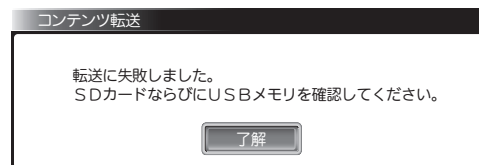
転送が正常に終了すると転送完了画面が表示されます。

4 「了解」が選ばれているので、決定を押す

USBメモリを差す前の画面に戻ります。

- 画像再生中だった場合は、転送されたデータが再生されます。

5 メディアをサービス用端子から抜く

必要に応じ、再生順や音声ファイルの指定をやり直してください。

※転送が正常に終了しなかった場合

「了解」が選ばれているので、決定を押してメッセージ画面を消し、メディアを差しなおしてSDカードが正しく挿入されているか確認してから、もう一度手順 1 からやり直してください。

お知らせ

- データ転送には、USB2.0に準拠したサービス用USB端子に接続可能なメディアをご使用ください。
- カードリーダーなどを経由しての接続も可能です。

静止画再生中の画質・音声設定

静止画を全画面表示中に、画質と音声の設定ができます。

1 静止画を全画面表示中に メニュー を押す

2 「今すぐできること」を選び、決定を押す

「画質設定」については取扱説明書(同梱CD)の P.104 、「音声設定」については P.111 をご覧ください。

Memo

お手入れのしかた

液晶パネル

液晶画面には、映り込みを抑えたり、映像を見やすくしたりするために特殊な表面処理を施しています。誤ったお手入れをした場合、画面を損傷する原因にもなりますので次のことを必ずお守りください。

- 表面は、脱脂綿か柔らかい布で軽く拭きとってください。また、きれいな布を使用されるとともに、同じ布の繰り返し使用はお避けください。
  ホコリのついた布・化学ぞうきんで表面をこすると液晶パネルの表面が剥がれることがあります。
- 画面の清掃には、水、イソプロピルアルコール、ヘキサンをご使用ください。
  研磨剤が入った洗剤は、表面を傷つけるので使用しないでください。
  アセトンなどのケトン系、エチルアルコール、トルエン、エチル酸、塩化メチルは、画面に永久的な損傷を起こす可能性がありますので、クリーナーの成分には十分ご注意ください。酸やアルカリもお避けください。
- 水滴や溶剤などがかかった場合はすぐに拭きとってください。そのままにすると液晶パネルの変質、変色の原因になります。
- 清掃目的以外(静電気防止など)でも画面に溶剤等を使用されますと画面の光沢ムラなどになることがあります。ムラなどになった場合は、水ですぐに拭き取ってください。

※表面は傷つきやすいので硬いもので押したりこすったり、たたいたりしないように、取り扱いには十分注意してください。
　画面についたキズは修理できません。

※手指で触れる、などにより表面が汚れることのないように十分にご注意ください。

キャビネット

キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジンやシンナーなどで拭くと変質したり、塗料がはげる原因になります。
【化学ぞうきんご使用の際はその注意書に従ってください】

- 柔らかい布で軽く拭きとってください。
  特にパネルのまわりは傷つきやすいので、メガネ拭きなどの柔らかい布で拭きとってください。
- 汚れがひどいときは水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞り拭いてください。
- 水滴などが液晶パネルの表面を伝ってテレビ内部に浸入すると故障の原因になります。

内部

掃除は、販売店に依頼してください。

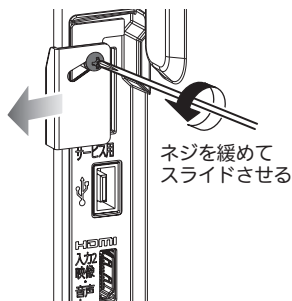
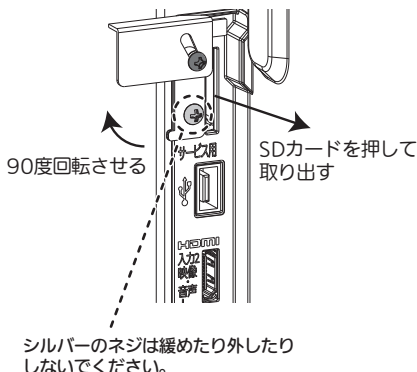
- 1年に一度くらいを目安にしてください。
  内部にほこりがたまったまま使うと、火災や故障の原因になります。とくに梅雨期の前に行うのが効果的です。

電源プラグ

- ほこりなどは定期的にとってください。
  電源プラグにほこりがついたりコンセントの差し込みが不完全な場合は、火災の原因になります。

SDカードを取り出す

SDカードを取り出すときは、必ず「**電源オン状態**」でリモコンのサイネージボタンを押し、再生設定を「切」にしてから行ってください。

取り外し手順 ①

取り外し手順 ②

お願い！

・連続使用は製品の寿命を著しく低下させる恐れがあります。
　一日数時間は電源を切ることをお勧めします。
・長時間連続使用された場合、保証期間内であっても有償修理となることがあります。

困ったときは･･･

静止画、動画を再生できないとき・・・

SDカードの接点部の確認をお願いします。
ご使用環境によっては接点部の汚れ等により正常に動作しない場合があります。

三菱電機お客さま相談センター（365日24時間受付）

TEL　：フリーコール 0120-139-365（無料）

携帯電話・PHS・IP電話の場合
三菱電機お客さま相談センター 〒154-0001 東京都世田谷区池尻3-10-3 TEL（03）3414-9655（有料） FAX（03）3413-4049（有料）

ご相談対応

平　日	9:00～19:00
土・日・祝 弊社休日	9:00～17:00

上記以外の時間は受付のみ可能です。

A

872C568A20